

# 能代産業廃棄物処理センター環境保全対策事業について (処分場調査)

環境整備課

## 1 事業の目的

能代産業廃棄物処理センターの処分場内及び周辺の1, 4-ジオキサン等による汚染に対し、より効果的な対策を実施するため、処分場内外においてボーリング調査等を行い、1, 4-ジオキサン等の汚染の範囲、原因及び程度を把握する。

### 【事業の背景】

- 産廃特措法に基づく特定支障除去等事業の変更実施計画について環境大臣の同意を得る段階で、「処分場全体の汚染状況を把握し、より効果的な対策の実施を検討すること」との意見が出されている。
- なお、平成17年度～18年度に実施した初期の処分場（No.1、No.2）を対象とする調査の結果、多数の廃油入りのドラム缶が違法に埋立処分されていたことから、地元住民からは、その他の初期の処分場（No.3～No.7）についても同様の調査を実施するよう要望されている。

## 2 事業の概要

### (1) 処分場調査・解析業務委託

45,828 千円

#### ① 土壌ガス調査 60箇所

初期の処分場である No.3～No.7 処分場において、土壌中のVOC（揮発性有機化合物）濃度の高い箇所を特定するため、ボーリング調査の予備調査として土壌ガス調査を実施する。

#### ② ボーリング調査 22箇所

土壌ガス調査の結果や専門家及び地元住民の意見等を踏まえて、処分場内外でボーリング調査を実施し、ボーリングコアの確認並びにコア及び地下水の分析試験等を行うことにより、地下水質、土質及び地下水の流向等を把握する。

### (2) 旅費、使用料

210 千円

## 3 予算額

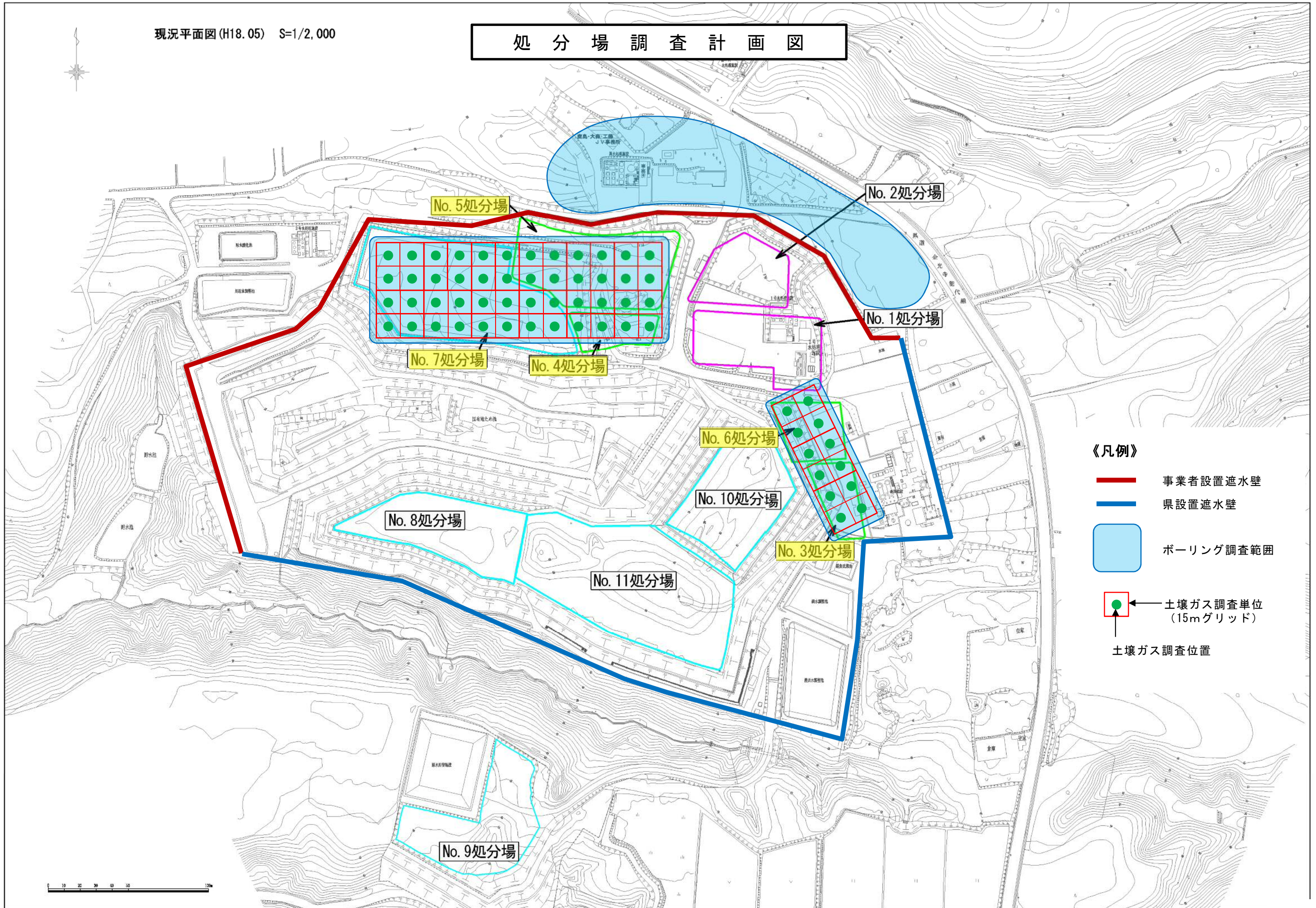
46,038 千円

### 【参考】調査スケジュール概要

	8月	9月	10月	11月	12月
土壌ガス調査	←→				
ボーリング調査	←→				
データ解析 取りまとめ				←→	



# 処分場調査計画図



## 《凡例》

- 事業者設置遮水壁
- 県設置遮水壁
- ポーリング調査範囲
- ← 土壌ガス調査単位 (15mグリッド)
- ↑ 土壌ガス調査位置

